

# 香川の 土地改良

発行所  
香川県土地改良事業団体連合会  
高松市番町五丁目1番29号  
TEL (087) 832-7140  
FAX (087) 832-7150  
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



農地耕作条件改善事業天神Ⅱ地区（丸亀市綾歌町）

## 目次

1. 災害復旧技術向上のための講習会開催 .....2
2. 「全国水土里ネット女性の会」～設立総会及び研修会～開催 .....2
3. 非補助農業基盤整備資金のご案内 .....3
4. 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019 入選作品発表 .....4～5
5. 「水を追う男・西嶋八兵衛物語り」第一回 .....6
6. 農業用施設賠償責任保険のご案内 .....7
7. 多面的機能支払中国四国シンポジウム in 阿波の国開催／会と催し.....8

## 災害復旧技術向上のための講習会開催

2月3日、香川用水記念会館1階多目的室において、災害復旧技術向上のための講習会が開催された。

災害復旧業務が迅速かつ的確に実施されるためには、技術者の専門的な知識が必要とされ、災害復旧の現場からは、一定の技術水準を持った技術者による災害復旧支援を求める声が広く寄せられている。このような状況を踏まえ、災害復

旧に携わった経験のある技術者を全国レベルで認定登録し、その技術者の効果的・効率的な活躍を期して創設された「農村災害復旧専門技術者」認定制度の理念に沿って、この講習会は開催された。

同講習会では、中国四国農政局農村振興部防災課の清水災害査定官を講師として招き、農地・農業用施設等災害復旧技術向上について講義が行われたほか、本会より農村災害ボランティア支援に関する説明が行われた。

当日は、県職員、市町職員、香川県農業土木設計業協会等、本会職員、土地改良経験0B等総勢38名が受講し災害復旧技術の向上に努め、講習会終了後には受講生全員に修了証書が交付された。



講習会の様子

## 「全国水土里ネット女性の会」～設立総会及び研修会～開催



12月10日、東京都千代田区平河町の砂防会館別館1階「木曾」において、「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会が全国の水土里ネットに在職する女性職員参加のもと開催された。

第一部の設立総会では、会則案の制定、役員選出、活動報告、活動計画について、

審議がなされ、会長には水土里ネットやまなしの萩原丈巳総務課長が就任された。引き続き各都道府県「女性の会」による活動報告及び情報提供が行われ、第二部の「今後の、農業・農村における女性の活躍に期待すること」をテーマとしたパネルディスカッションでは、パネリストにタレントの「おりも政夫」氏、フリーアナウンサーの「名越涼」氏らと会場参加者による対談が行われた。

第三部の全国各地の特産品を持ち寄った意見交換会では、本県から持参した小原紅早生（みかん）も大変好評であり、より良い交流の場となった。



選出された役員の方々



パネルディスカッション

今後、当会を通じ、「水・土・里」に携わる女性職員間のネットワークを広げ、情報共有や連携の強化を図りながら、更なる農業農村整備の発展に寄与することが期待される。



## 非補助農業基盤整備資金のご案内

～土地改良施設の維持管理のために～

非補助農業基盤整備資金とは、土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。

国の補助対象ではない事業（単県又は市町単独補助事業）についても、融資の対象となります。

1. かんがい排水やほ場整備、客土などの事業を実施し、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合の費用。
2. 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分、又、トイレ、浴室、洗面所の改修費用。
3. 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、又、土地改良事務所の建設、事務機器等の購入などの費用。

### ■ 貸付対象者

- (1) 土地改良区、土地改良区連合（事業主体になる場合に限る。）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む者、農業振興法人
- (2) 5割法人・団体（農業を営む者及び上記（1）の法人がその構成員又はその資本金などの過半数を占めるか又は過半数の出資等をしている法人・団体）

### ■ 融資限度額

複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。（ただし、融資1件あたりの最低額は50万円となっています。）

### ■ 金 利

\*0.20%（令和2年1月21日現在）

\*融資時の利率が最終償還まで適用される「固定金利」です。

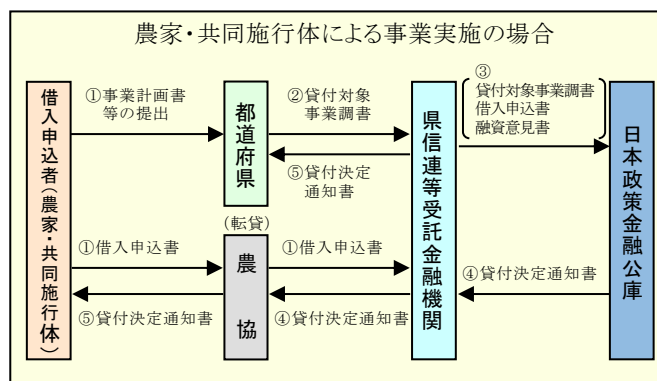
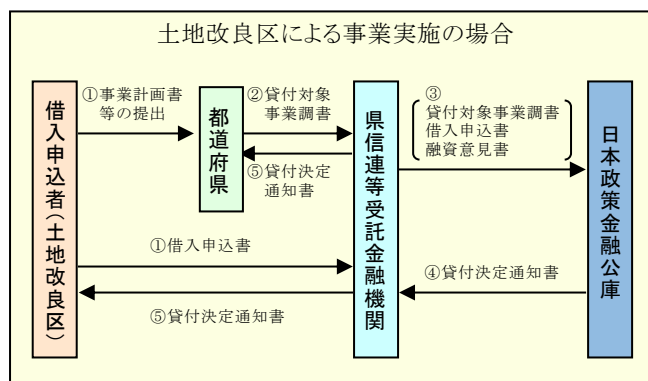
\*借入時の金利は、金融情勢により変動します。最新の金利は、最寄りの日本政策金融公庫・農業協同組合にお問い合わせ下さい。

### ■ 償 還 期 間

最長25年（うち据置期間10年以内）の範囲で、施設の耐用年数等を考慮して決められます。

### ■ 償 還 方 法

元利金等償還、元金均等償還のいずれかを選択出来ます。



## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019

全国水土里ネットと各都道府県水土里ネットが主催する「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は、今年で20回目を迎え、子どもたちに絵画を通じて農業農村の魅力をアピールすることを目的に開催している。

今年度は、令和最初の年で、かつ子ども絵画展が始まって20年目の記念すべき年であるが、「新発見！ぼくのわたしのふるさと」をテーマに、3歳児から小学校6年生までの子どもから5,224点の作品応募があった。応募作品では、田んぼや水路、そこに棲む生き物、子供たち一人一人の素直な目で見て心を感じたふるさとの風景、農作業の様子、祭りや風習、あるいは家族とのふれあいなどが生き生きと描かれていた。甲乙つけがたい中から複数回にわたる厳正な審査の結果、入賞24点（農林水産大臣賞をはじめ7つの賞と16の協賛団体・企業賞、さらに1つの20周年特別賞）、入選129点、地域団体賞45点が選定された。

県内からは、高松市の白河奏真さん（4歳）が描いた「おたまじゃくしとカエル」がふるさと水と土優秀賞を受賞したほか、7点の作品が入選した。

### ふるさと水と土優秀賞



「おたまじゃくしとカエル」

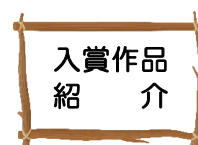
白河奏真さん（4歳）

### MAEDA ちきゅうとみらい賞



「競争しよう！」

黒嶋隆人さん（4歳）



### 積水化学賞



「ホタルのまつり」

青木和志さん（4年）





● 「スイスイおよいでる」



寺西明希さん (3歳)

● 「楽しい田んぼ」



大和瑠莉乃さん (5歳)

● 「風にゆられてゆ～らゆら」



多田恵彩華さん (5歳)

● 「おばあちゃんのやさい」



北本真土さん (2年)

● 「ゆかいなひょうげまつり」



永木智大さん (3年)



# 水を追う男・西嶋八兵衛物語り

「四国作家」同人 平井 忠志

西嶋八兵衛は、香川県の水利の恩人です。源平合戦の時代に決壊したまま、二百年ものあいだ放置されていた満濃池を復旧したのも八兵衛です。現在の高松市街地に氾濫していた香東川の東岸を締め切って西側にしぼったのも八兵衛です。

小田池（高松市）や竜満池（旧香川町）、鎌田池（坂出市）山大寺池（三木町）など、多くの池を築いたのも八兵衛です。

栗林公園の商工奨励館の中庭にある『大禹謨』（だいうぼ）・・・「中国の黄河の治水に努めた大王・禹の、はかりごと」の石碑は、西嶋八兵衛が香東川を改修したとき、刻んだ直筆です。

不思議なことに、こんな偉大な大恩人の功績を刻んだ顕彰碑が、香川県のどこにもありません。ところが、八兵衛の出身地である三重県の伊賀上野には、街中に八兵衛の銅像があるのです。

遅まきながら、西嶋八兵衛の功績を称える顕彰碑を、ぜひ建立したいものです。

## 第一回 讃岐 日照りとの戦い

「八兵衛、そなたに無理を頼みたい。四国讃岐の生駒藩に行ってもらえまいか」

江戸の上屋敷の居間で、太った体を脇息で支えながら、藤堂高虎は側近の西嶋八兵衛に、話しかけた。

「また何用でござりましょう。ついこの間、行ってきたばかりでござりますが」

八兵衛は首を傾げながら、高虎の顔を見上げた。高虎は身を乗り出しながら言った。

「生駒藩の江戸家老から聞いたのだが、いま讃岐の国は毎年のように続く大日照りで、ろくに米が採れず、領民たちは飢えに苦しんでおるそうじゃ。野には飢え死にした者を焼く煙が漂っておるといふ」

「殿、そんな所に私が飛び込んだところで、何が出来ましようや・・・？」

八兵衛はこのとき男盛りの三十歳。赤黒い精悍な顔で、高虎に食い下がった。

「水じゃ、水を造るのじゃ。そちの持てる力を精いっぱい發揮して、日照りを追いかけて、水と戦うのじゃ。そなたは讃岐生駒藩の水利土木奉行として出向せよ。禄高五百石を遣わす。讃岐日照りはなかなか手強いぞ」

こともなげに言い放つ高虎の言葉に、八兵衛は思わず気色ばんだ。

「殿、水との戦いには、莫大な戦費が要りますぞ。場合によっては生駒藩の台所が火の車、借財で身動きがとれなくなります」

「構わぬ。わしが責任を持つ。生駒藩主を質においてでも戦費を捻り出す。国家老の生駒帯刀には、委細をしたためた書状を出して置こう」

そのあと高虎は、脇息から身を乗り出すようにしながら、

「八兵衛、その方まだ妻女がいなかったのう。ついでに讃岐で探して参れ。讃岐は水に恵まれぬが、水もしたたる美人が多いと聞いておる」

「殿、ご冗談を！」

八兵衛は柄にもなく、顔を赤らめながら頭をかいた。



### 執筆者紹介

平井 忠志 （ひらい ただし）

「四国作家」同人

愛媛県立農林専門学校農業土木科

（現愛媛大学農学部）卒業

昭和 23 年 香川県農地部勤務

開発水利課長・土地改良課長歴任

昭和 61 年 香川用水土地改良区勤務

平成 7 年 小説「花だんす」で香川菊池寛賞受賞

平成 13 年 「さぬき水物語」出版

平成 20 年 「さぬき水の歴史考」出版

## 農業用施設賠償責任保険のご案内

～施設管理に万全を期そう～

本会では、水路やため池等の土地改良施設への転落事故により管理責任を問われ、多額の損害賠償金が発生した場合に備える「農業用施設賠償責任保険」を取り扱い、万一に備えての保険加入を推進しています。不幸にして人が死傷したり、他人の物が損壊し、土地改良施設の管理等に瑕疵があった場合、国家賠償法等に基づき施設管理者の責任が問われ、支払うべき損害賠償額は高額となることがあります。

本会会員である土地改良区等がこの保険に加入され、不測の事態に備えられるようご検討いただき加入されることをお勧めします。ご加入の際は、「農業用施設賠償責任保険のご案内」「施設所有管理者賠償責任保険のあらまし」並びに「農業農村整備関係事業補助率及び採択基準等」を必ずご確認の上、御手続きください。「**加入時期は4月及び10月の年2回**」としますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### てん補限度額及び保険料

#### 令和2年2月10日現在加入状況

会員数	79 会員 (2 市 77 土地改良区)
施設名	数 値
ため池・貯水池	1,877 ヶ所 周囲 659.813 km
農業用排水路	716.856 km
農 道	150.224 km
揚水機場	10 ヶ所
排水機場	3 ヶ所
頭首工	29 ヶ所
井 戸	6 ヶ所
親水公園	4 ヶ所 (7,327 m <sup>2</sup> )

1) てん補限度額	A型プラン	B型プラン	C型プラン
対人賠償(1名あたり1事故につき)	1億円	2億円	3億円
対物賠償(1事故につき)	200万円	200万円	200万円
2) 保険料(年間)			
ため池・貯水池 外周距離 (1km当り)	1,800円	2,460円	3,060円
水路・農道 (1km当り)	600円	820円	1,020円
揚水機場 (1ヶ所当り)	13,780円	19,480円	24,700円
排水機場 (1ヶ所当り)	14,730円	20,900円	26,600円
頭首工 (1ヶ所当り)	22,330円	30,880円	40,380円
井 戸 (1ヶ所当り)	1,900円	2,660円	3,420円
親水公園 (千m <sup>2</sup> 当り)	5,810円	7,520円	9,090円



#### この保険で対象となる施設

ため池、貯水池、農業用排水路、農道、頭首工、親水公園等



#### 支払できる保険金

- ・被害者に対して支払う損害賠償金(治療費、慰謝料等)
- ・損壊した財物の修理費用、修理不能の場合の交換価額等
- ・訴訟費用、弁護士費用等



#### 保険金を支払いできない主な損害

- ・保険契約者または被保険者の故意による事故
- ・地震、洪水等の自然災害とこれらに関連のある火災その他の類似事故



#### 保険期間

令和2年4月1日16時から令和3年4月1日16時まで



#### 申込期限

令和2年2月28日(金)

問い合わせ先 香川県土地改良事業団体連合会 会員支援課へ(☎087-832-7140)

## 多面的機能支払中国四国シンポジウム in 阿波の国開催

～農村は資源-農村の価値、再発見！～

1月23日、令和元年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 阿波のくにが徳島県徳島市のあわぎんホール徳島県郷土文化会館において“農村は資源-農村の価値、再発見！”をテーマに開催された。

このシンポジウムは、農業・農村の有する多面的機能を将来にわたり維持・発揮することの大切さを再認識し、地域活動を更に推進していくことを目的とし、多面的活動に取り組んでいる活動組織並びに関係機関約700名が参加した。

開会挨拶の後、徳島大学大学院社会産業理工学研究部鎌田磨人教授による“「農」が生み出す価値と持続的な社会”及び農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室 浜崎宏正課長補佐による“多面的機能支払交付金の全国を取組と効果について”と題し基調講演があった。続いて、中国四国農政局長表彰活動組織最優秀賞を受賞した「跡市環境保全組合」（島根県江津市）及び「長門市農地・水・環境保全組織へき保全会管理協定」（山口県長門市）、また徳島県内の活動組織を代表し、徳島県阿南市の「阿南市那賀川北岸地域広域保全協定」より事例発表が行われた。



## 会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
1月9日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
1月9日	まんのう町土地改良区統合整備推進協議会幹事会	まんのう町
1月14日	令和元年度第3回県営造成施設等の資産評価に関する意見交換会	岡山市
1月17日	まんのう町土地改良区統合整備推進協議会第2回委員会	まんのう町
1月22日 ～23日	水田・畑作経営所得安定対策等支援事業研修会	東京都
1月23日	令和元年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 阿波のくに	徳島市
1月24日	改正女性活躍推進法等説明会	高松市
1月28日	土地改良事業における財産管理制度活用マニュアル説明会	徳島市
2月3日	災害復旧技術向上のための講習会	高松市
2月4日	本会令和元年度第3回監事会	高松市